

CONTENTS

- 01 巻頭言
- 02 久保田副市長にインタビュー
- 03 お仕事紹介
- 04 総会・懇親会のご案内・編集後記

巻頭言

公務研究科 校友会幹事 野澤 貴徳（8期生）

皆さまいかがお過ごしでしょうか。平成27年度修了生の野澤です。

私が公務研究科を修了して早くも3年が経ちました。私はK省の地方局で働いていて、1年目は総務課にいて、本省と地方局を繋ぐ仕事をしました。社会人1年目ということで、なかなか余裕もなく、ただ駆け抜けた一年でした。じっくり考える余裕もなく迷いながら、今の職場に決めたので、違う役所のほうが良かったかな～とか色々思うこともありました。ですが、2年目、3年目は企業とも繋がりのある課にいて様々な経験をする事ができ、さらに4年目からはエネルギー関係の課に配属になってまた新たな経験を積むことができたので、今の職場を選んで良かったと思っています。

さて、昨年一昨年と担当させていただいた巻頭言では、趣味の沖縄の離島めぐりについて書かせていただき、沖縄の有人離島46島に全て上陸したところまでは書かせていただきました。

島にはそれぞれ個性があり、大東諸島のように断崖絶壁で船が接岸することが難しい島や、伊平屋島のように沖縄本島の方が多く訪れるような落ち着いた島、慶良間の前島のように廃墟がなんともいえない味がある島など、非常に興味深かったです。国内でどこか面白い所ないかな～～と思ってる方はぜひ訪れてみて下さい。

昨年の私はというと、沖縄だけには飽き足りず、鹿児島島の奄美の島々を全て回りました。奄美群島と呼ばれていて、有人島は8島あります。

沖縄本島から少し北にある与論島や沖永良部島は、中世の沖縄を統治していた三山の一つ、北山の影響を受けていて少し沖縄っぽさがあります。一方、奄美大島や徳之島は表現が難しいですが、「日本(大和)」っぽさがあり、まさしく日本の南の島という感じで、また違った興味深さがあります。

ちなみに与論島の百合が浜と呼ばれる干潮時に現れる砂浜周辺の海面はコンディションさえ良ければ私が見た中では最も美しいです。こちらはまだ訪れたことがない方はぜひ行ってみてください笑。

今年のGWは再び沖縄回帰ということで、石垣島と西表島に10日間滞在しダイビングを楽しみました。もともとは陸から見る海を楽しむことが多かったのですがこれからはダイビングをどんどんしたいと思っています。まだまだ沖縄と奄美の旅は飽きることはなさそうです笑。



久保田副市長にインタビュー

本年3月まで公務研究科教授として3年間務められ、4月から静岡県掛川市の副市長としてご活躍中の久保田崇さんにお話を伺いました！



Q1

改めて副市長のこれまでのキャリアをご紹介ください。

A1

内閣府で、10年間国の行政に関わりましたが、2011年に発生した東日本大震災が私の人生を大きく変えました。

津波により甚大な被害を受けた岩手県陸前高田市にボランティアに入ったのが縁で、戸羽太市長に要請されて同市の副市長に出向し、復興業務に携わりました。4年間に及ぶ出向期間中、多くのことを学びましたが、在任中に公務研究科のシンポジウムに招聘いただいたことが縁で2016年より公務研究科の実務家教員となりました。

この4月からは出身地の掛川市長から要請されて故郷に戻り、再び副市長を務めています。思いがけなく二度目の副市長となりましたが、2以上の異なる自治体で副市長を務めることは全国的にも珍しいようです。

Q2

公務研究科の経験が現在のお仕事に活かされていることはありますか。

A2

同僚の先生方のご指導の元で書き上げた『立命館法学』論説「SDGs(持続可能な開発目標)と地方自治体—新たなガバナンスの構築を目指して」及び『SDGsとまちづくり』(学文社、編著)、『SNSカウンセリング・ハンドブック』(誠信書房、共著)の成果は、現在掛川市の総合計画の改定にSDGsの視点を盛り込むことや、ひきこもり対策に関してLINE相談の手法が市議会で質問されて答弁するなど、現在の仕事にもつながっています。

院生の研究テーマにもあった「シュタットベルケ(自治体新電力)」や「ふるさと納税」は掛川市でも熱心に取り組んでいます。

Q3

OB・OGへメッセージを。

A3

実はつい先日、国家総合職の試験に合格した学生数人から連絡があり、面接試験の指導？を電話やメールで行いました。

立命館時代に関わりのあった学生・院生から連絡をいただくと、とても嬉しいです。掛川市には行ったことがないという方も、東京・名古屋・京都・大阪の間を移動される際に掛川市を通過されることが多いので、次回はずいぶん「こだま」に乗り換えて掛川で途中下車し、掛川市役所の副市長室までお越しください。「お茶のまち」ですので、庁舎1階では、「やぶきた」「べにふうき」など緑茶の種類を選べる自動給茶機(無料)もありますよ。

久保田副市長、ありがとうございました！

～ O B ・ O G お仕事紹介 ～

<自己紹介>

3期生 大竹 美紗子(2011年/平成23年春卒) 所属:茨木市役所(勤続9年目)
1～4年目:保健医療課/保健医療センター/こども健康センター
5～9年目:保険年金課(年金係)

今回は今担当している**国民年金窓口**の業務についてです。



メイン業務: 国民年金(老齢・障害・遺族と現役被保険者の加入・脱退)

サイド業務: 年金事務所との協力連携、庁内外他部局との連携

メインは市役所の本務である、法定受託事務にあたる**国民年金**に関わる、特に**第1号被保険者**に関わる業務です。

その前に**第1号被保険者って何?**という疑問があるかもしれません。

サラリーマンが**第2号被保険者**で(これは、イコール厚生年金・共済年金加入者)

サラリーマンである**第2号被保険者**に扶養されている専業主婦などが**第3号被保険者**で、

第1号被保険者はその他大勢(学生、自営業者、農林漁業者、無職の者・・・等など)だと考えていただいて構いません。

元々、**国が担う年金の仕事の一部**を市役所が窓口となって、届書の受付・相談業務を引き受けています。

業務は**現役世代の適用(加入・脱退・保険料納付と減免申請)**と**保険給付**の大きく二つに分かれます。

私は主に**保険給付(老齢・障害・遺族)**で中でも多くの時間を**障害基礎年金**を受給したい人の相談と審査書類の受付/整理に割いています。



国が直接実施するには、年金事務所の窓口の数は少なく、代わりに身近な相談窓口として**国民年金以外でもほぼ何でもやります。年金以外の健康保険、雇用保険、介護保険、税金、生活保護、医療、障害者手帳の知識**に広く触れていないと分からないことが多く、日々勉強だと感じています。**国と市民を繋ぐエージェント/調整役**の様な重要な役割があり、様々な問題について他部局・他機関と連絡、協力してクリアしていく場面が多いです。

<気がついたこと>

- ・ターゲットの大半が高齢者と外国人留学生であるせいか、
しゃべるのがすごくゆっくりになりました・・・某戦場カメラマンみたいに。
- ・留学生と技能実習生・・・特に**アジア人とインド・中東系**が多い
- ・昔、**市役所窓口で学生時代に保険料免除申請していたのが、逆に今、受付をする立場になるとは・・・人生分かりません。**
- ・精神疾患と発達障害と知的障害の相談者の多さ



<良かったこと>

- ・**年金の知識が身につく**
- ・自分の両親の手続きを押し付け・・・じゃなくて代わりにやらせてもらえる。
(自分の両親がいつのまにか年金受給の年齢に達していたこと自体に驚きましたが・・・
・・・凄くタイムリーな時期に年金部門に従事してよかったです。)
- ・自慢の**英語力**が生きる



茨木市は立命館大学、大阪大学始め近隣大学の**留学生が多く住む街**で日本語を使用しない住民への対応が課題となっています。

窓口の対面コミュニケーションや配布チラシの作成など**ゼロから創意工夫する**余地があり、とても遣り甲斐があります。

最近**立命館大学と連携**して留学生オリエンテーションを開いて説明・啓発に努めるなど日々改善を進めています。

母校に少しでも恩返しが出来ていたら嬉しいです。

第9回 総会・懇親会のご案内

開催日:2019年9月28日(土)

時間:

総会…午後5時30分～

懇親会…午後6時45分～

(受付:午後6時30分～)

出欠回答は
WEBへ!

会場:

総会…朱雀キャンパス

懇親会…焼肉弘千本三条店



会費:5,000円

**皆さま、ぜひともご参加ください!
皆さまのお越しをお待ちしております!**

編集後記

周りも自分も、ライフステージが目まぐるしく変わっていて、その中でこの会報の意味は何だろうと思ったり
思わなかったりします。

Rippo 事務局

〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1

TEL:075-813-8274

E-mail:ml-rippo@ml.ritsumei.ac.jp

URL:http://www.ritsumei.jp/koumu/rippo01_j.html